財政事情の公表

ください富士市の家計簿

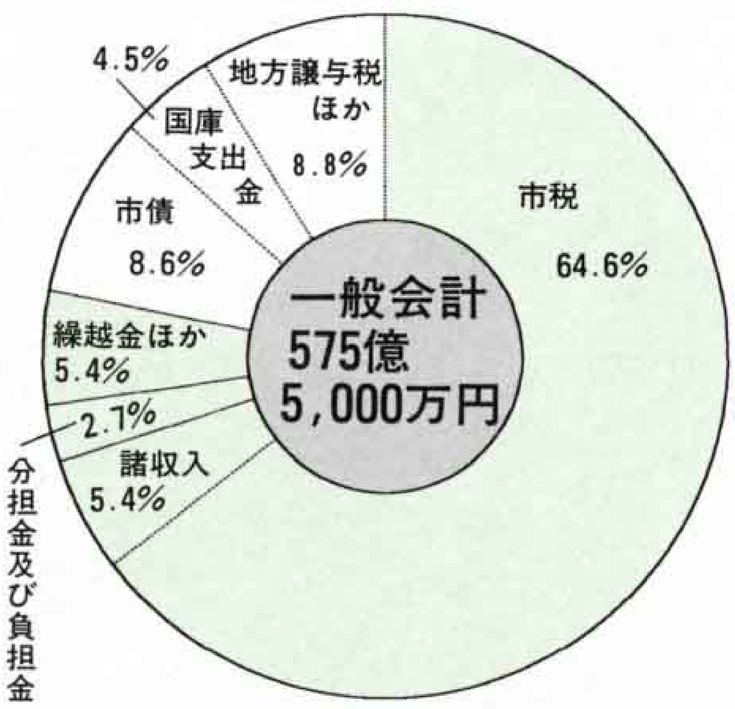
健康で文化的な まちづくりを

私たちが納めた税金は、どのように使われているのでしょうか。市は、市の財政事情を市民の皆さんに知っていただくため、毎年六月と十二月の二回「富士市の財政」を公表しています。

今回は、平成二年度の予算と平成元年度の財政状況をお知らせします。

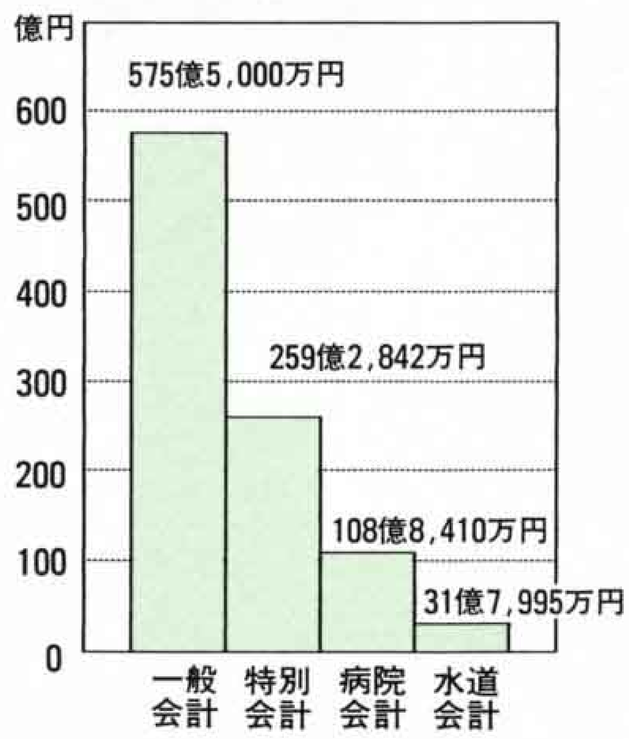
財源別歳入

自主財源
依存財源

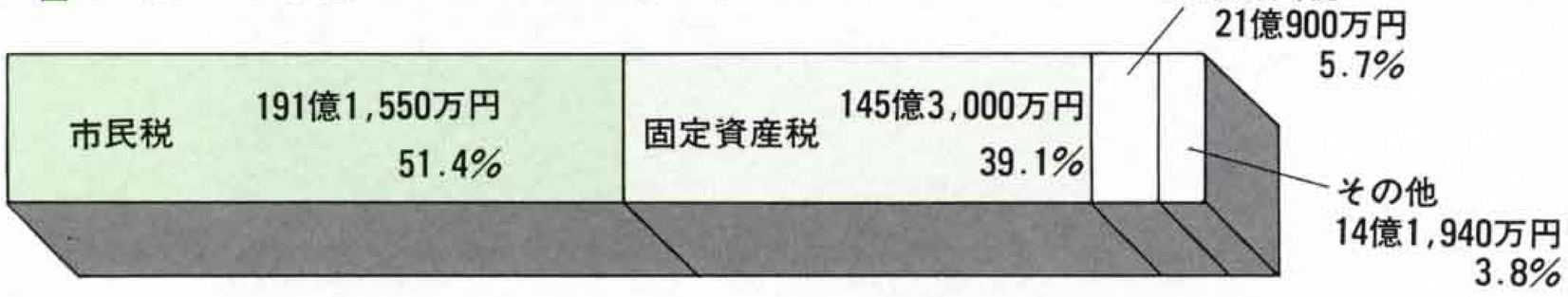


平成2年度会計別予算

総額 975億4,247万円



市税の内容　合計371億7,390万円



平成2年度一般会計 【一般会計とは市税収入を主な財源として、福祉・教育・道路・消防などに使われる会計です。】

歳入

会計年度内(4・1～翌年3・31)に入ってくるお金

科目別		金額	構成比
総額		**575億5,000万円**	**100%**
市税	(市民税、固定資産税など)	371億7,390万円	64.6%
市債	(市の借入金)	49億2,058万円	8.6%
諸収入	(預金利子など)	31億3,205万円	5.4%
国庫支出金	(国からの補助金など)	25億8,806万円	4.5%
地方譲与税	(国から地方に譲与されるお金)	22億5,200万円	3.9%
県支出金	(県からの補助金など)	17億 897万円	3.0%
分担金及び負担金	(施設入所者の負担金など)	15億3,558万円	2.7%
使用料及び手数料	(施設の使用料など)	10億6,182万円	1.9%
その他		31億7,704万円	5.4%

一般会計は7.8%の伸び

平成2年度の予算は、一般会計が575億5,000万円（対前年7.8%増）、企業会計を含む特別会計が399億9,247万1,000円（同8.4%増）、合計では975億4,247万1,000円（同8.0%増）となりました。

一般会計における歳入では、市税の総額は371億7,390万余円で前年度に比較して、24億2,300万余円の増加を見込みました。主要税目では市民税で15億3,170万余円、固定資産税で9億9,330万余円の増加を、また地方譲与税については3億円の増加を見込みました。

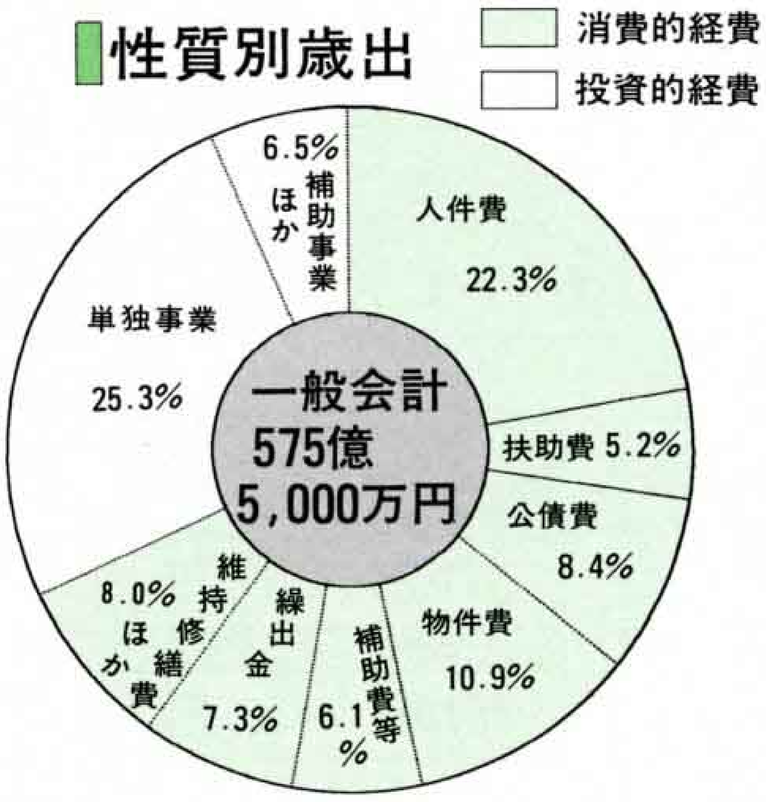
一方、歳出については文化会館建設を初め、（仮称）療育相談センター建設、富士体育館改築、（仮称）富士中部小学校建設用地の取得など富士市総合計画に掲げる諸施策の実施に向けて積極的な予算化を行いました。

ごらん

▷建設中の市立体育館完成予想図

平成2年度
一般会計は
575億5,000万円

性質別歳出



市民1人当たりに使うお金	25万7,298円
市民1人当たりの市税負担額	16万6,199円

教育に	道路・河川の整備に	福祉などに	ごみの処理や健康を守るために
6万138円	5万8,049円	3万4,972円	2万6,944円
庁舎管理などに	公債費に	消防活動に	産業の発展に
2万4,156円	2万1,627円	9,587円	2万1,825円

(平成2年3月31日現在の人口で算出)

市債の状況

市の借金を市債といいます。市税や補助金だけでは賄えない事業を行うために、国や銀行からお金を借ります。

一般会計債　385億1,758万円　**特別会計債**　239億4,264万円　(H2・3・31現在)

歳出

会計年度内(4・1～翌年3・31)に支出するお金

科目別	金額	構成比	使い道
総額	**575億5,000万円**	**100%**	
教育費	134億5,120万円	23.4%	学校整備や社会教育などに
土木費	129億8,379万円	22.6%	道路や河川の整備に
民生費	78億2,210万円	13.6%	社会福祉などに
衛生費	60億2,647万円	10.5%	ごみ処理や病気の予防に
総務費	48億3,954万円	8.4%	庁舎管理や人件費などに
公債費	48億3,744万円	8.4%	借りたお金を返すために
消防費	21億4,432万円	3.7%	消防、水防、防災のために
農林水産業費	18億3,806万円	3.2%	農林業や水産業のために
労働費	15億9,800万円	2.8%	働く人たちのために
商工費	14億4,556万円	2.5%	商業や工業発展のために
その他	5億6,352万円	0.9%	議会費、災害復旧費などに

Q 富士市の財産はどのくらいありますか

佐野和子さん
(松岡・主婦)

有価証券は1,390万円

平成2年3月31日現在の市有財産は次のとおりです。なお、公営企業財産は除きます。

有価証券	1,390万5,200円
土地	4,930万4,241平方㍍
建物	60万2,361平方㍍
立木	28万3,796立方㍍
車両	286台
基金の現在高	83億4,153万4,608円

A

財政事情の公表

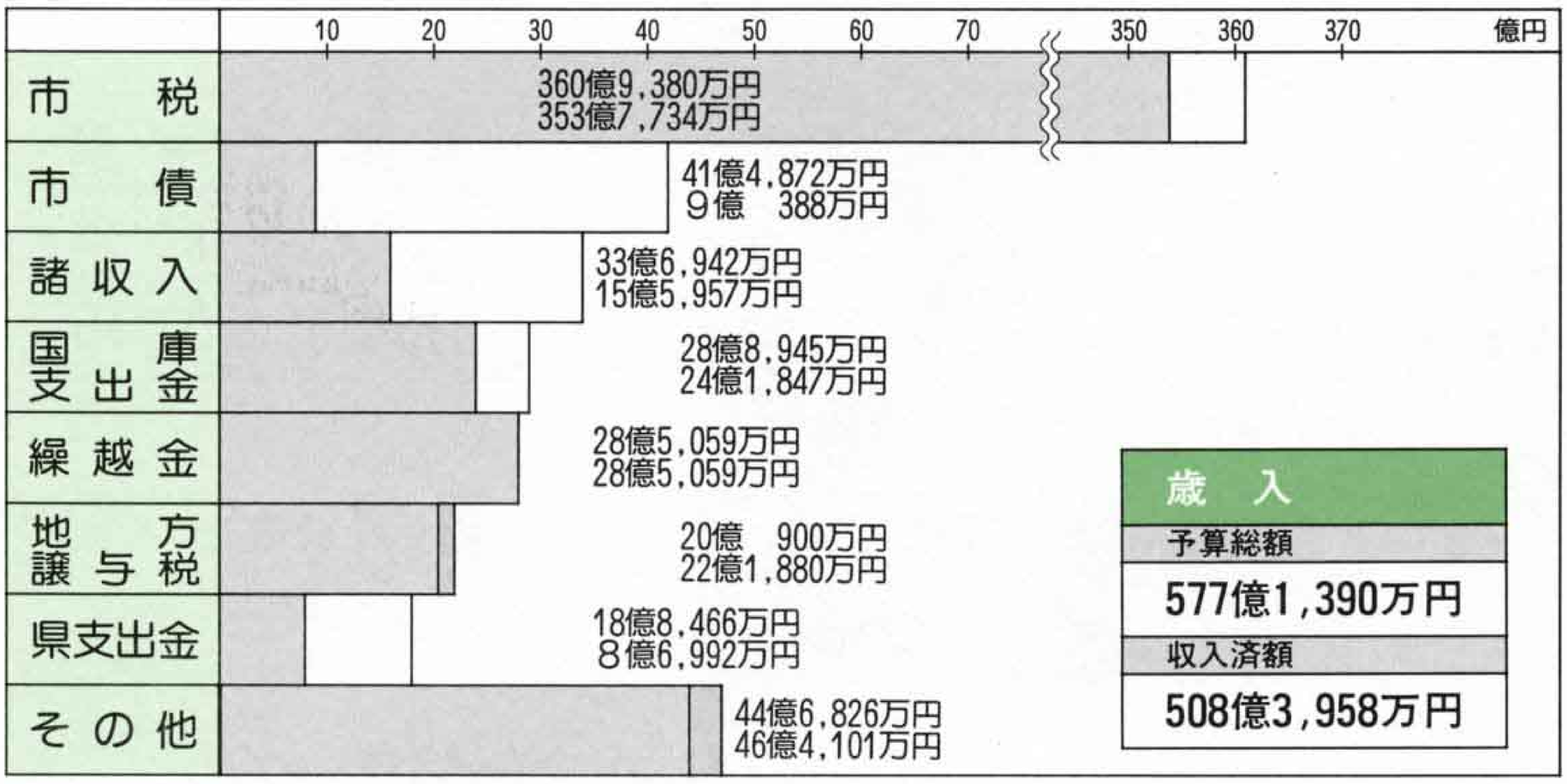
平成元年度予算の執行状況

順調に歳入の伸び

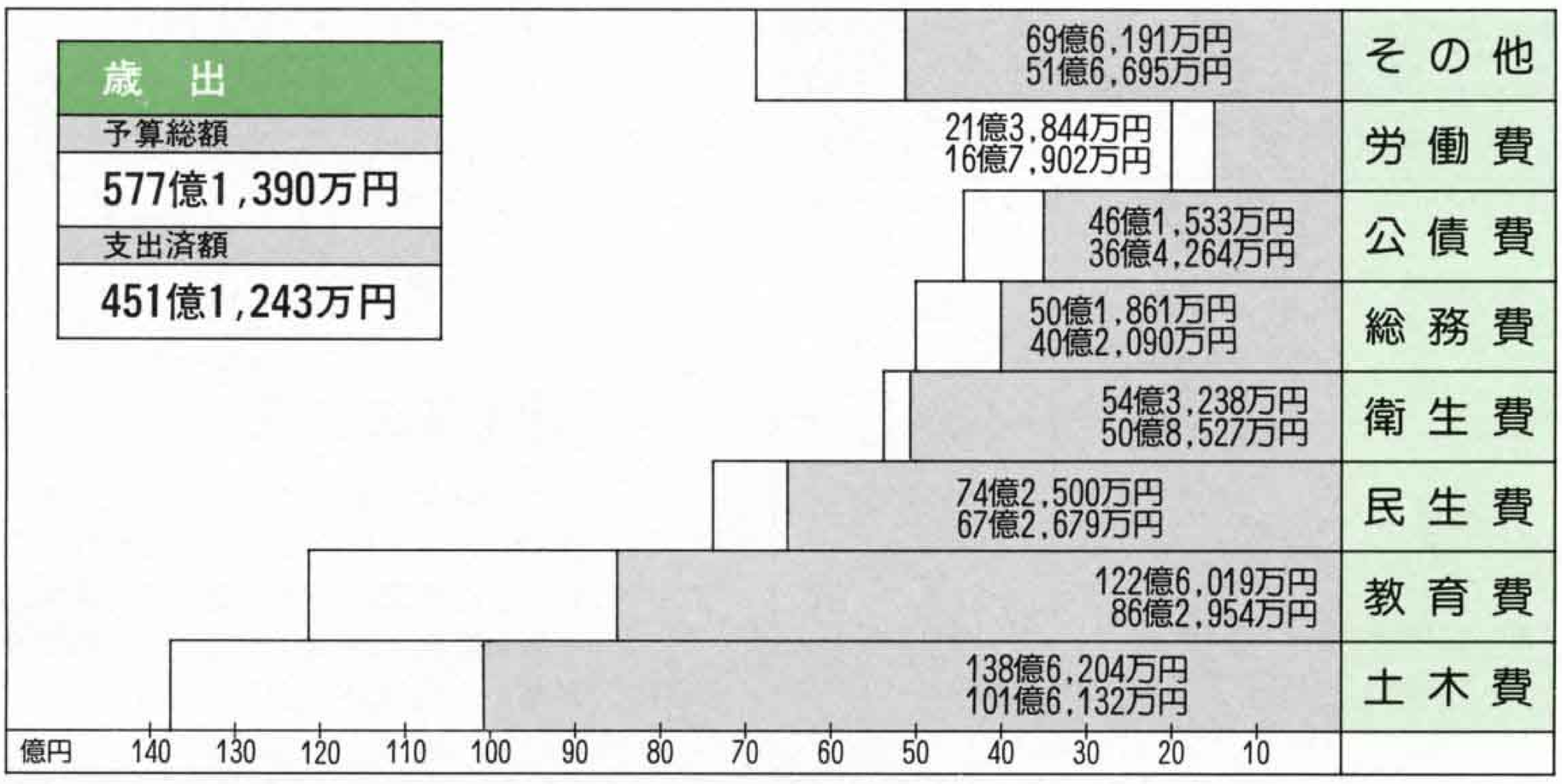
平成元年度一般会計

（上段：予算額　下段：執行額）

平成2年3月31日現在。出納整理期間が5月31日までとなっているため、歳入・歳出とも未整理のものがあります。



歳入	
予算総額	577億1,390万円
収入済額	508億3,958万円



歳出	
予算総額	577億1,390万円
支出済額	451億1,243万円

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、一般会計とは別に経理する会計です。（財産管理特別会計は省略しました）

国民健康保険会計		下水道会計	
予算額	80億4,800万円	予算額	76億1,500万円
支出済額	68億1,312万円	支出済額	54億9,752万円
依田原新田区画整理会計		**富士中部区画整理会計**	
予算額	4,705万円	予算額	17億7,200万円
支出済額	4,680万円	支出済額	13億1,423万円
地方卸売市場会計		**駐車場会計**	
予算額	3億5,784万円	予算額	5,204万円
支出済額	3億2,048万円	支出済額	3,733万円
公共用地先行取得会計		**老人保健医療会計**	
予算額	9,991万円	予算額	63億7,202万円
支出済額	5,066万円	支出済額	58億3,607万円

企業会計

企業会計は、民間企業と同様に独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。

◇病院事業

収入合計	**80億9,927万円**
医業収益	71億4,486万円
医業外収益	9億5,441万円
支出合計	**80億2,315万円**
医業費用	74億1,187万円
医業外費用	6億1,128万円
純利益	**7,612万円**

◇水道事業

収入合計	**26億2,711万円**
営業収益	23億7,465万円
営業外収益	2億5,246万円
支出合計	**22億 323万円**
営業費用	17億8,228万円
営業外費用	4億2,095万円
純利益	**4億2,388万円**